

断酒例会とオンライン断酒会を比較検討して

# 院内断酒会の有効活用を考える

医療法人耕仁会札幌太田病院

自活力回復棟 看護師 A

看護師 B 看護師 C 看護師 D

医局

医師 A

# はじめに

- ▶ 2020年新型コロナウイルス感染症流行による人の密集の制限
- ▶ 集会の中止からオンライン集会の導入へ移行の流れ
- ▶ 当院においても・・・
- ▶ 2020年からオンラインを導入し、断酒会会場、各病棟、個人宅をつなぐハイブリット式断酒会を開催
- ▶ 現在も継続

# 方法

- ▶ **期間** X年8月の1カ月
- ▶ **手法** アンケート用紙を用いての聞き取り
- ▶ **対象** 院内断酒会参加者のうち
  - 会場参加の通院者 3名
  - 会場参加の入院者 2名
  - 自宅からのオンライン参加者 3名
- ▶ **分析** 内容を書き起こし、KJ法を用いた

# 結果

## カテゴリー 1

オンラインはメリットが多く、人との交流がなくても  
自助グループとして成り立つ

## カテゴリー 2

人との交流がある通常断酒会に参加した方が楽しい

## カテゴリー 3

ネット環境が整い操作方法がわかれば、  
オンライン断酒会に参加したい

## カテゴリー 1

人との交流がなくても

自助グループとして成り立つ【メリット】

感染リスクがない

遠方から参加可能

移動時間を  
気にしない

どこからでも  
参加可能

多忙でも  
参加可能

直前まで  
仕事ができる

気軽に話せる

集中出来る

周囲に人がいない

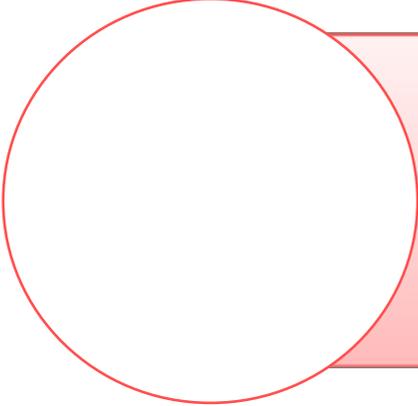
直接交流が出来なくても  
気にならない

## カテゴリー 1

人との交流がなくても  
自助グループとして成り立つ【デメリット】

通信環境が  
悪化することがある

会場側の音声が  
聞き取りにくいことがある



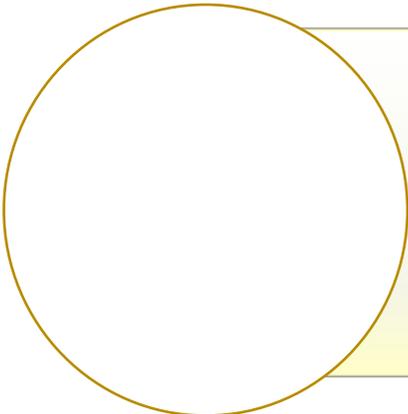
## カテゴリー2

人との交流がある通常断酒会に参加した方が楽しい

直接反応が分かり  
話がしやすい

聞いている人の反応が  
分かり、話がしやすい

交流がないと  
物足りない



## カテゴリー 3

ネット環境が整い操作方法がわかれば  
オンライン断酒会に参加したい

操作方法が解れば  
オンラインでも参加してみたい

自分ではツールを  
使いこなせない

操作が難しく  
ハードルが高い

教えてくれる人がいれば  
自宅で参加したい

都合に合わせて  
参加したい

# 考察

インターネット環境の充実



人との関わり方も多様化



断酒会のあり方も多様化するべき



ハイブリッド方法等、柔軟な方法が求められている

# 課題

オンライン断酒会に  
関心のある人の指導

会場側スタッフの  
操作スキルの向上

参加者のルール

# 参考文献

特定非営利活動法人ASK 依存症当事者・家族による  
オンライン活動（マニュアルと事例集）

伊藤美弥 他 オンライン断酒会の効果と課題（参  
加者へのインタビューを通して）

成瀬暢也 アルコール依存症治療革命

**ご清聴ありがとうございました**